

(様式)

令和3年度 美術科 授業改善推進プラン

大田区立安方中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・既習の知識や技術を使って多様な表現を試みる生徒が増えた。
- ・自己評価カードの記入が定着し、丁寧な記入ができる生徒が増えた。
- ・ビデオ教材を作成して手順を繰り返し見ることで視覚的に理解を深めることができた。

(2) 課題

- ・感染予防のために「感動伝票」による相互評価ができなかった。
- ・自己評価カードの記入ができる生徒と、できない生徒の二極化が進んでいる。
- ・授業中の説明をきちんと聞き取れない生徒が多く、指導が徹底しないことがあった。
- ・大型テレビやコンピューターを使った授業の準備が進んでいない。

2 授業改善のポイント (観点別)

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
絵の具、彫刻刀などの道具の使い方の基本を身に付けさせる。作成した動画で繰り返し見せることで理解を深める。	発想構想から実作業に入るための段取りを考え、自ら資料を準備するなどアイデア創出のための流れを身につける。	自己評価シートを用いて見通しをもって制作する習慣をつける。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
既習の内容を活かして作品作りに取り組むことで表現の幅を広げられるように指導する。	資料を自ら準備するなどして、豊かに発想して形にしていくことを促す。生徒作品の画像を見せて多様な表現につなげる。	鑑賞で視野を広げ作品制作に活かす。感動伝票などの相互鑑賞に積極的に取り組む姿勢を育てる。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
既習の技法や表現を自ら選択して組み合わせることで個性ある表現ができるようにする。	自画像制作を通してより自分自身に迫るとともに美術の表現の多様性に目を向け自分らしい表現について深く考える。	感動伝票などの相互鑑賞に積極的に取り組み、多様な「よさ」を見つける目を育てる。